

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の小田原市の結果について

1 調査の目的

- 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 教育委員会が、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書：令和6年12月 スポーツ庁)

2 調査対象：小学5年、中学2年

3 調査事項及び内容

(1) 実技調査・・・新体力テスト（8種目）

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン又は持久走 ⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ボール投げ（小学校：ソフトボール、中学校：ハンドボール）

(2) 児童生徒に対する質問紙調査・・・運動習慣・生活習慣等に関する項目

(3) 学校に対する質問紙調査・・・子供の体力向上に係る取組等に関する項目

4 調査実施日

(1) 実技調査・・・令和6年4月～令和6年7月

(2) 質問紙調査（児童生徒用、学校用）・・・令和6年7月

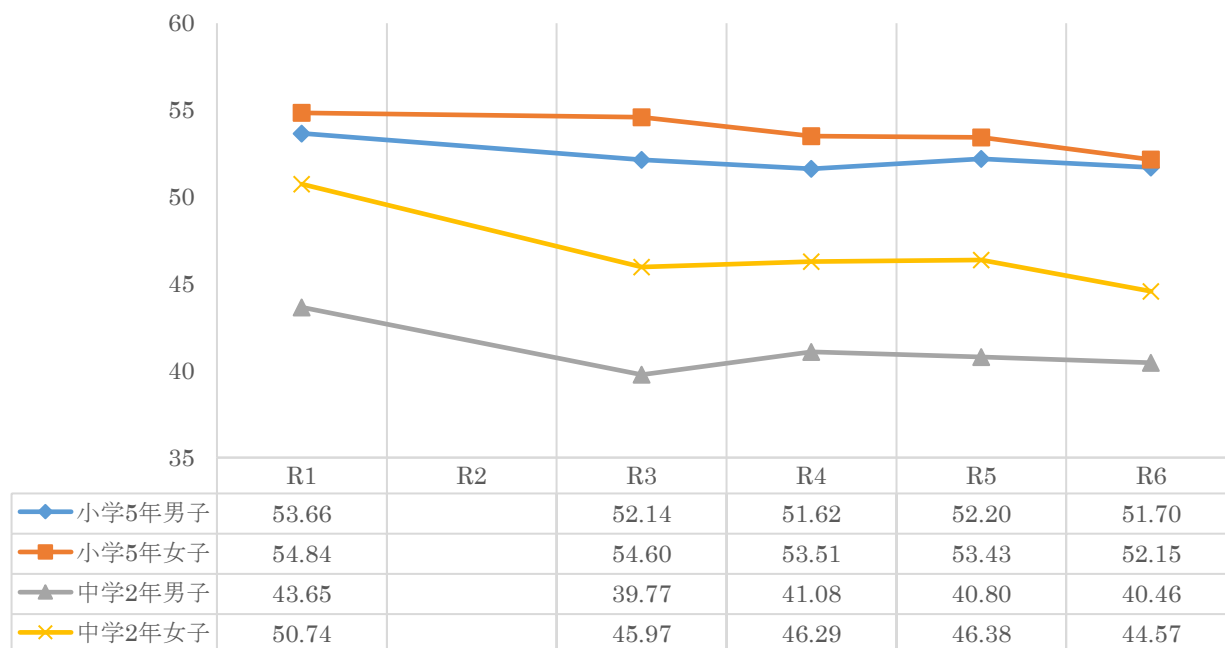
5 実技調査の結果

(1) 体力合計点（平均）の経年比較【資料1】

	小学5年						中学2年					
	男子			女子			男子			女子		
	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国	市	県	全国
R6	51.70	52.59	52.53	52.15	53.00	53.92	40.46	41.25	41.86	44.57	46.30	47.37
R5	52.20	52.25	52.59	53.43	53.29	54.28	40.80	40.84	41.32	46.38	45.90	47.22
R4	51.62	52.27	52.28	53.51	53.63	54.31	41.08	41.49	41.04	46.29	46.75	47.42
R3	52.14	52.41	52.52	54.60	53.62	54.64	39.77	40.31	41.18	45.97	46.56	48.56
R2	新型コロナウイルス感染拡大のため中止											
R1	53.66	53.17	53.61	54.84	54.25	55.59	43.65	41.71	41.69	50.74	49.66	50.22
H30	54.47	53.68	54.21	55.96	54.61	55.90	41.72	40.82	42.32	49.99	48.23	50.61

※体力合計点：8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して合計した点数

合計点の経年比較（R2年度は中止）



小学5年	A (65～80)	B (58～64)	C (50～57)	D (42～49)	E (41以下)	D・E 合計	R6全国 D・E 合計
R 6	7.6	20.6	35.6	23.8	12.4	36.2	33.3
R 5	10.9	21.1	32.6	23.4	11.9	35.3	
R 4	9.5	21.6	33.1	23.3	12.7	35.9	
R 3	10.3	22.8	33.0	22.4	11.6	34.0	
R 1	12.4	25.5	33.4	20.1	8.6	28.7	
中学2年	A (57～80)	B (47～56)	C (37～46)	D (27～36)	E (26以下)	D・E 合計	R6全国 D・E 合計
R 6	12.3	23.4	33.5	22.9	7.9	30.8	25.0
R 5	13.8	28.0	30.7	20.4	7.0	27.4	
R 4	15.7	25.0	30.8	22.1	6.4	28.5	
R 3	7.1	22.6	32.9	25.4	12.1	37.5	
R 1	21.4	32.0	30.1	11.9	4.6	16.5	

※判定基準：8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して合計した点数を、括弧（ ）の基準によりAからEの5段階で判定します。

※四捨五入した元データ値（スポーツ庁集計データ）を用いて男女平均値を小数第2位で切り捨てしていることから、A～Eの百分率の値の総和が100にならない場合があります。

(4) 種目ごとの平均値【資料4】

小学5年	男 子				女 子			
	小田原市	神奈川県	全国	T得点	小田原市	神奈川県	全国	T得点
握力 (kg)	15.64	16.55	16.01	49.0	15.37	16.01	15.77	49.0
上体起こし (回)	19.24	19.44	19.19	50.1	17.97	18.16	18.16	49.7
長座体前屈 (cm)	34.80	35.27	33.79	51.1	38.88	39.30	38.19	50.8
反復横とび (点)	38.93	39.12	40.66	47.9	36.04	36.37	38.70	46.5
20mシャトルラン (回)	43.07	44.93	46.90	48.2	32.32	33.25	36.59	47.3
50m走 (秒)	9.36	9.46	9.50	51.2	9.70	9.76	9.77	50.7
立ち幅とび (cm)	141.55	148.64	150.42	46.2	134.32	139.98	143.13	46.0
ソフトボール投げ (m)	20.34	20.32	20.75	49.5	13.28	12.86	13.15	50.3
体力合計点 (点)	51.70	52.59	52.53	49.1	52.15	53.00	53.92	48.0
中学2年	男 子				女 子			
	小田原市	神奈川県	全国	T得点	小田原市	神奈川県	全国	T得点
握力 (kg)	28.55	28.62	28.95	49.5	22.75	22.99	23.18	49.1
上体起こし (回)	26.11	25.76	25.94	50.3	21.01	21.14	21.56	49.1
長座体前屈 (cm)	45.20	44.85	44.47	50.6	45.47	46.42	46.47	49.1
反復横とび (点)	48.60	49.68	51.51	46.9	43.46	43.87	45.65	47.2
持久走 (秒) 一部のみ実施	425.04	410.53	410.69	48.0	335.38	318.00	309.02	44.9
20mシャトルラン (回)	71.06	77.94	78.98	46.9	44.24	49.15	50.67	46.7
50m走 (秒)	7.99	7.98	7.99	50.0	8.94	8.95	8.96	50.2
立ち幅とび (cm)	192.26	195.37	197.18	48.5	159.14	163.39	166.32	47.5
ハンドボール投げ (m)	21.08	20.45	20.57	50.8	13.17	12.16	12.03	51.8
体力合計点 (点)	40.46	41.25	41.86	48.7	44.57	46.30	47.37	47.6

*T得点・・・全国平均値を50点とした時の相対的な得点を示すもの

*小田原市の は、全国比+の項目

6 質問紙調査の結果

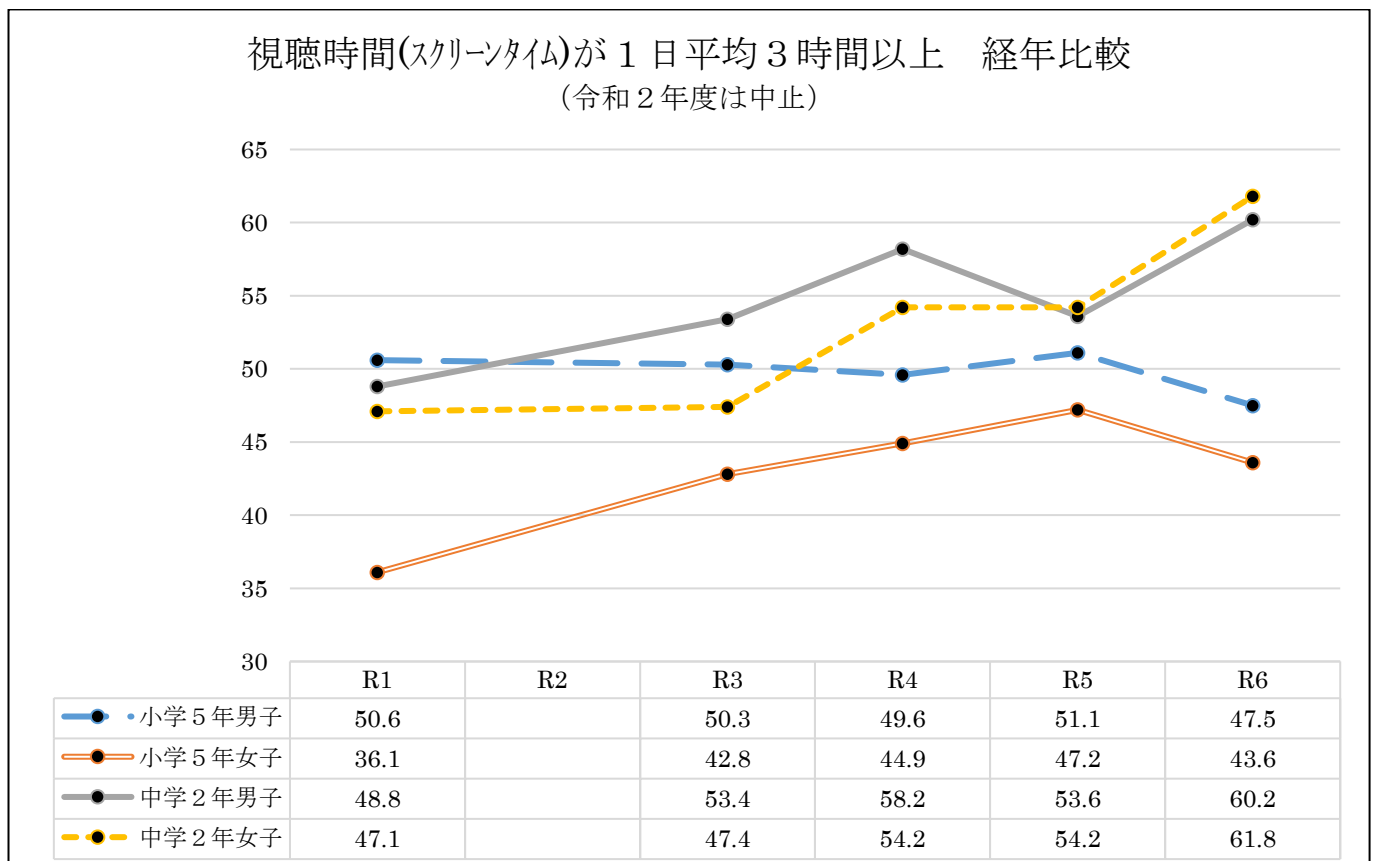
(1) 児童生徒質問紙調査の結果から【資料5】

(単位：％)

小学5年	回答	男子		女子	
		小田原市	全国	小田原市	全国
運動が好き	好き・やや好き	93.5	92.9	85.9	85.7
体育の授業は楽しい	楽しい・やや楽しい	95.9	94.7	90.7	89.9
運動は大切である	大切・やや大切	94.3	93.8	90.4	90.4
中学校進学後も自主的に運動したい	思う・やや思う	89.5	88.8	86.4	83.6
体育の授業以外の運動等の時間	1週間の総時間(分)	600.7	550.1	371.5	331.8
1日の睡眠時間	7時間未満	12.5	11.2	11.7	9.9
平日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間(スクリーンタイム)	3時間以上	47.5	44.4	43.6	38.8
中学2年	回答	男子		女子	
		小田原市	全国	小田原市	全国
運動が好き	好き・やや好き	90.0	91.7	78.4	83.8
保健体育の授業は楽しい	楽しい・やや楽しい	87.9	89.7	78.1	82.7
運動は大切である	大切・やや大切	89.8	93.1	84.7	85.5
中学校卒業後も自主的に運動したい	思う・やや思う	83.5	87.6	74.5	76.2
体育の授業以外の運動等の時間 (部活動等の時間含む)	1週間の総時間(分)	770.3	752.7	559.8	517.2
1日の睡眠時間	7時間未満	28.4	27.6	43.8	37.8
平日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間(スクリーンタイム)	3時間以上	60.2	50.1	61.8	49.2

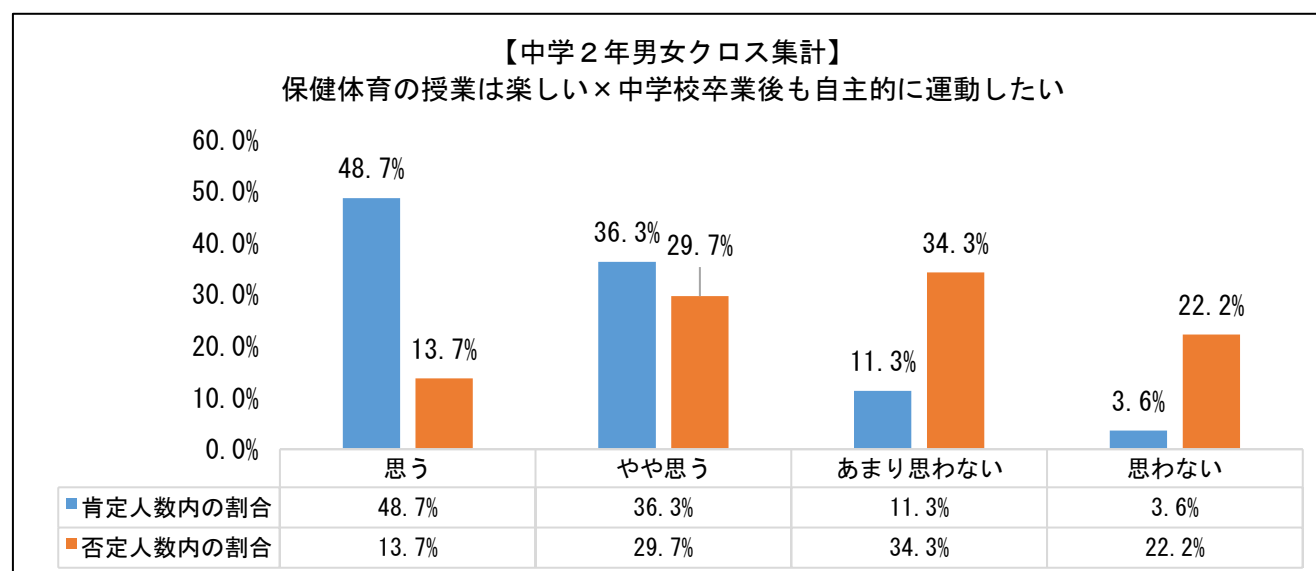
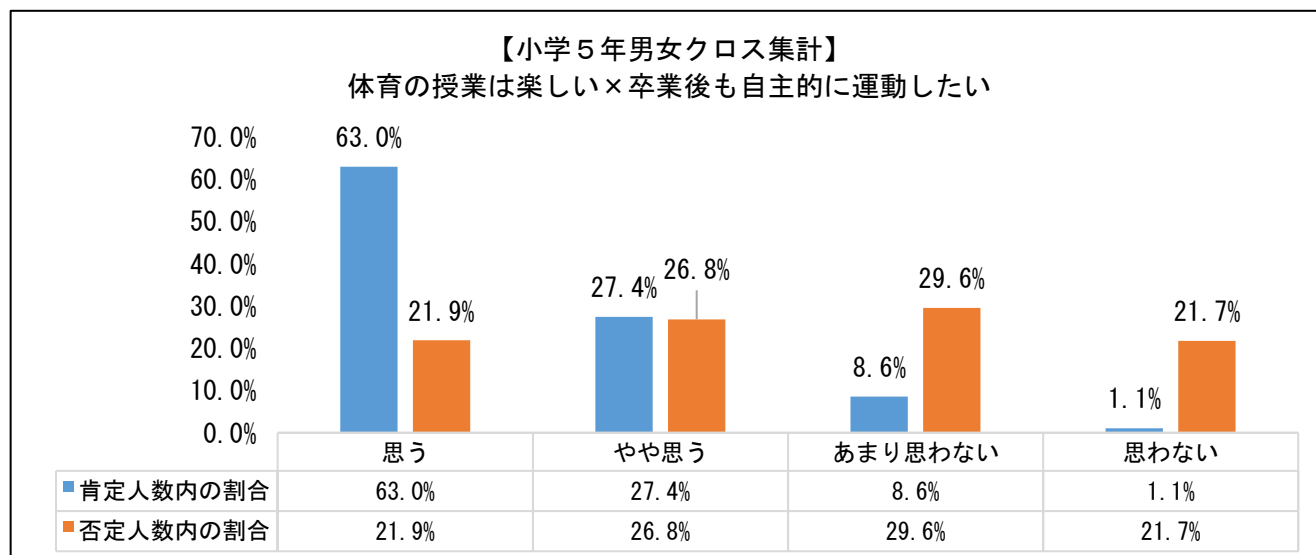
(2) 視聴時間(スクリーンタイム) 1日平均3時間以上の経年比較【資料6】

(単位：％)



(3) クロス集計（体育/保健体育の授業は楽しい×中学校進学後/卒業後も自主的に運動したい）

（体育の授業は楽しい×中学校進学/卒業後も自主的に運動したい）【資料7】



(4) 学校質問紙調査の結果から【資料8】

(単位: %)

小学校・中学校	回答	小学校		中学校	
		小田原市	全国	小田原市	全国
体育授業について					
大切にしていること (上位4つ)	体を動かす楽しさを実感させること	88.0	87.5	70.0	82.0
	仲間と協力して課題解決させること	68.0	54.8	70.0	62.3
	運動量を確保すること	48.0	60.9	20.0	47.1
	技や動きができるようになること	12.0	30.5	50.0	24.8
児童生徒同士で話し合う活動（すべてまたは一部の学年で取り入れている）		100.0	99.1	100.0	98.2
ICT活用頻度（週1時間以上の活用状況）		20.0	37.5	50.0	49.6
体育/保健体育の授業以外で、体力向上の活動を行う上での取組					
前年度、学校全体で体力・運動能力向上の目標設定	設定していた	72.0	83.6	40.0	75.1

7 課題と今後の取組

スポーツ庁は、「第3期スポーツ基本計画（令和4年3月）」において、「生涯にわたって、運動・スポーツを継続したい児童生徒」の割合を90%以上に増加させることを目標としています。本市の運動習慣等調査では、「体育/保健体育の授業は楽しいと思う児童生徒」は、「卒業後も自主的に運動したい」と考えている割合が高い傾向にあります（資料7）。そのため、児童生徒が主体的に学習に取り組み、課題解決に向けた学習展開の工夫や、運動の楽しさや喜びを多く味わえる授業を実践していき、自主的に運動に励む児童生徒の育成が必要であると考えます。

さらに、中学校学習指導要領解説保健体育編（平成29年7月）では、「自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連づけること（P25）」と示されており、運動やスポーツを多面的に捉え、生涯を通じて運動やスポーツに関わる力を養い、一人ひとりが自分なりの関わり方を見つけ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るための土台づくりとして小中学校は大切な時期です。教師が各種目の魅力を発信し、児童生徒の興味・関心の可能性を広げ、運動やスポーツが「楽しい」と思う機会を増やしていくことが大切だと考えます。

また、児童生徒質問紙調査の結果から、中学2年の映像等の視聴時間（スクリーンタイム）が増加していること（資料6）が明らかになっています。スマートフォンやゲーム機等の使い方が発育・発達に及ぼす影響については、保健の授業や各校による実践だけでなく、家庭と連携した取組が必要になってきています。なお、小学5年においては、令和5年度を下回る値となりましたが、依然として全国平均を上回る値であるため、早い段階から家庭と連携して取り組む必要があります。

学校質問紙調査の結果（資料8）から、体育/保健体育の授業以外で、体力向上の活動において、学校全体で体力・運動能力の目標設定をしていたかの設問については、「設定していた」とする回答の割合が全国と比較して低くなっています。スポーツ庁の「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」にも、「目標設定は、現状とのギャップを認識し、その達成に向けた適切な取組（手段・方法）について検討・実施するための基点となるものであり、適切に目標設定を行い、それを体力向上の取組とその評価に繋げることが望まれる。」とあります。本市においても、様々な場面で目標を設定する重要性について学校へ情報を伝えていく必要があると考えます。

市教育委員会では、オリンピック・パラリンピアン等の著名なアスリートを派遣することで、児童生徒が運動に対する興味・関心を高め、自主的に運動を行う気持ちを醸成するとともに、「する」に加えて、「見る」・「支える」の観点からも運動に親しもうとする児童生徒の育成に努めています。また、大学と連携し、体力・運動能力向上指導員を小学校に派遣し、児童に師範や助言をすることで、意欲的に運動に取り組める環境づくりを行います。また、教職員に対しても、体力向上プロジェクト会議を開催し、体力・運動能力の向上に向けた各校の取組等について意見交換を行うとともに、情報提供に努めていきます。